

平成31年度 東保育所拠点事業報告

《東保育所事業報告》

1. 事業総括

(1) サービス事業

いわみ西保育所と同じです。

(2) 人財育成事業

いわみ西保育所と同じです。

(3) 施設整備事業

「豊かな心作り・健康な身体づくり」を目標とし、絵本の充実や年齢・発達に応じた遊具・用具を取り揃えてまいりました。園庭の固定遊具は安全に遊べるよう整備いたしました。また、防犯システムや防犯カメラの設置から、職員の防犯への意識が高まりました。紙おむつの処理を業者に委託したことや、パソコンの一元化の導入は業務改善にも繋がっております。

平成31年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

いわみ西保育所と同じです。

【人財育成事業】

いわみ西保育所と同じです。

【施設整備事業】

計画上の施設整備等	実施した内容等
絵本や絵本コーナーの充実	<ul style="list-style-type: none">・クラスの破損した絵本は処分させて頂き、年齢に合った絵本の購入や、3歳児の絵本コーナーに本棚を購入し子ども達が自分で選んだり片付けしやすい環境を整えました。
運動遊具・用具・玩具の購入	<ul style="list-style-type: none">・2、3歳児用の三輪車が不足していたことから、購入させて頂きました。バランス感覚を養う平均台の購入や、乳児クラスの破損玩具を処分し指先の運動を促す玩具をそろえました。
防犯システム・防災用品の充実	<ul style="list-style-type: none">・110番直結非常通報装置と防犯カメラが8月に設置され、防犯システムの確認を職員に周知しました。・防災用に職員のヘルメットを購入し、避難訓練で着ける訓練や職員の動きなどを話し合い防災に備えました。
製作用の棚や座机の充実	<ul style="list-style-type: none">・絵画作品を置く棚が設置された事で、製作後の片付けがスムーズに行えるようになりました。・2歳児増加の為、必要な座机を購入しました。
パソコンの安全システムの導入と事務業務の効率化	<ul style="list-style-type: none">・破損データのバックアップ機能を導入し、安全保持ができるようになりました。また、パソコンデータを一元化する事で職員がデータを共有し、事務業務の効率化と軽減を図ることもできました。
園庭遊具の設置と補修	<ul style="list-style-type: none">・昨年度設置できなかった乳児用滑り台を購入し、乳児クラスの遊びの幅を広げました。・固定遊具の塗装がはがれておりましたが、錆止めときれいに塗装をしていただき、園庭が明るく安全に遊べるようになりました。

屋外小屋の修理	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭の小屋を修理し、三輪車置き場に活用しております。防雪対策にもなりました。
紙おむつの処理	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済みの紙おむつをご家庭に持ち帰っていただきましたが、不衛生との指摘を受け業者に委託し衛生面の改善を図りました。
パンフレットの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所独自のパンフレットがなかった為、3園と子育て支援センター・さくらんぼクラブを紹介するパンフレットを合同で作成しました。
計画外の施設整備等	実施した内容等
ウッドデッキの修理	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドデッキの板が高温の為反り上がり危険でしたが、修理をさせて頂きました。次年度は腐食止めをして安全対策を予定しております。
ごみボックスの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋を害獣に荒らされることがありましたが、ごみボックスを設置させて頂き、荒らされる事なくごみを置くことができるようになりました。
スズメバチの駆除	<ul style="list-style-type: none"> ・高所にスズメバチが巣を作り危険でしたので安全確保の為業者に依頼し駆除をさせていただきました。

2. 利用者状況の総括

平成31年度の入所児計画では64名でしたが、保護者の勤務異動や転居により各クラスの人数に変動がありました。また、1月に予定外の入所があり、最終的には1名増の65名となっております。

【利用率（入所率）の状況表】

(単位:人、%)

定員	計画人数	計画利用率	実績人数	実績利用率	備考
60	64	106.7	65	108.3	4月スタート時56名

【利用者（入所者）構成の状況表】

(単位:人、%)

構成 (クラス別)	計 画		実 績		備 考
	人 数	構成割合	人 数	構成割合	
0歳児	8	12.5	8	12.3	4月スタート時 1名
1歳児	10	15.6	9	13.8	4月スタート時 9名
2歳児	14	21.9	17	26.2	4月スタート時14名
3歳児	10	15.6	10	15.4	4月スタート時 9名
4歳児	12	18.8	11	16.9	4月スタート時13名
5歳児	10	15.6	10	15.4	4月スタート時10名
計	64	100.0	65名	100.0%	4月スタート時56名

3. 要員（人員）体制の総括

平成31年度は、職員2名の妊娠から体調不良による療養・出産はありましたが、産休を予測した配置をしておりましたので配置基準は満たしておりました。1歳児が活発に活動するようになった後期より、0歳児と1歳児クラスを分けて保育するにあたり、0歳児の安全を考慮してパートの保育補助も確保しましたので、保育体制には問題なく事業を遂行することができました。

【要員状況表】

(単位；人.%)

職 種	計 画		実 績		
	人 員	常勤換算数	人 数	常勤換算数	計画に対する充足率
所 長	1	1	1	1	100.0
主任保育士	1	1	1	1	100.0
保育士	12	9	11	8.7	96.7
栄養士	0	0	0	0	0.0
調理員	4	2.1	4	2.1	100.0
保育補助	3	2.2	4	2.2	100.0
環境整備員	2	0.3	3	0.3	100.0
計	23	15.6	24	15.3	98.1

4. 苦情解決（要望含む）について

平成31年度において、以下の苦情が寄せられ、解決を図りました。

【苦情事例1】

発生日 : 令和元年9月5日(水)

申立者 : 保護者の方

苦情内容 : “一年間の行事予定” について

保育所の年間行事や月のおたよりはもらっているが、今年4月に子どもが入所したばかりで、行事の内容が分からず、どの行事の時に仕事を休んで参加すれば良いのか分からないとのことでした。

処理結果 : 1年の行事予定は、入所時に保護者の方へ配布をしていますが、初めて入所した子どもさんの保護者の方には行事の説明を丁寧にお伝えしたり、保護者の方に参加していただきたい行事は、早めにお知らせすることをお伝えする事で納得されました。

また、今回の苦情を踏まえ、初めて入所されたお子さんの保護者には、1年間の行事予定の配布時に、保護者参加の日をしっかりと説明していくことを職員間で周知いたしました。

【苦情事例2】

発生日 : 令和2年1月22日(水)

申立者 : 保護者の方

苦情内容 : “駐車場の混雑” について

夕方の迎えの時、駐車場が混雑していて車を駐車しにくいので対処して欲しい。

処理結果 : お迎時の駐車場の件は、4月の保護者総会で毎年お願いしていますがそれでもお迎えの時、保護者同士の話しが弾んで駐車場が混雑してしまうことがあります。今回の申し出をきっかけに、駐車場についてのたよりを配布して再度お願いしたり、幼児組の子どもたちにもお迎えが来られたら遊ばずに帰ることを伝えてからは、混雑はなくなり安心されました。

保護者の方へは、定期的にお願いをしていくことの必要性を感じ、職員にも周知しました。

第三者委員の関与 : 両事例は、解決結果を報告済み

以上

《地域子育て支援センター事業報告》

1. 事業総括

(1) サービス事業

行政と連携した出前講座や支援センターのイベント等積極的に行い、孤立防止へ努めてまいりました。また、在宅親子のニーズにより、来所しやすい時間帯にあわせて開所したことで、利用も増え定着しております。また、保護者同士の繋がりも深まり利用者が安心できる居場所として支援センターの役割を担っております。

(2) 人財育成事業

町の専門機関による研修や合同研修会などにも参加していき、担当職員の専門性を高めてまいりました。また、園内研修によるケース会議では、乳幼児健診等の情報を共有して、他の保育士の意見も取り入れた保護者支援やアドバイスを行い、信頼できる関係を培っております。

(3) 施設整備事業

計画はありませんでしたが、絵本や玩具などの充実を図っております。

平成31年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下の通りです。

【サービス事業】

<p>子育て親子の交流の場の提供と交流の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援室『すくすく』を常時、開所しました。 (9:30~16:30) 在宅保護者のニーズに合わせ、時間設定した事で、より利用しやすい環境となりました。町県外から嫁がれた保護者の方が特に多く来所され、安心できる居場所として定着し、午後の利用も午前と対等に増えました。 育児相談も多く、他の保護者の話を聞いて安心されるケースもあり、母親同士のよいコミュニケーションの場となっております。 ・各保育所に開放日を設けています(月1回9:30~11:00) いわみ西保育所・・・親子サロン 東保育所・・・わくわくデー 日貫保育所・・・ピヨピヨデー 開放日は、同年齢の子どもの発達を知ることができたり、入所前に保育所の様子や行事を知ってもらえる機会となっております。
<p>子育てに関する相談・援助</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来所、電話相談を行いました。(9:00~17:00) 《主な内容》 ・子どもの発達、病気、生活について ・予防接種、食事や離乳食、歯について ・夜泣きについて ・兄弟への対応のしかたや育児について ・一時預かり保育について(制度や申し込み等について) 育児や発達に関連した相談内容が多いですが、保育士が専門的なところからアドバイスすることで安心されています。又、子育て以外のことでも話を聞いてもらうことで気持ちが楽になる保護者さんもおられ、保護者支援の機能を担っています。 ・保健課による乳幼児健診に参加しました。 健診の参加は、支援センターを幅広く在宅親子の方に知ってもらう機会でもあり、また、保健課と子どもの発達や家庭の状況等の情報交換や連携を図る事で、在宅親子だけでなく保育所の子育て支援にも繋がっています。
<p>地域の子育て関連情報の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機関紙『すくすく』『月の行事』の発刊をしました。 毎月、在宅親子全戸に配布しております。 ・はじめての保護者に『子育て支援センターのご案内』を送付

	<p>しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無線放送にて活動の情報提供や参加呼びかけをしました。 ・広報誌『さくらだより』に情報提供をしました。 ・子育てに関する講演会やイベントの案内配布をしました。 <p>行政と連携して漏れのないよう情報の提供をしました。</p>
子育て及び、子育て支援に関する講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・アートデー・クッキングデー・わらべうたの日を設けました。 ・絵本の紹介・ママの心こころころ ・3B体操を実施しました。 ・出前講座(ベビーマッサージ・歯の話・離乳食の話・身体測定) 専門の講師の方や役場保健課職員により実施し、親子や参加した保護者同士のつながりを深める時間となっております。 <p>こういったイベントは参加率も高いので、孤立軽減の為にも継続していく必要性を感じております。</p>
地域支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出向き、世代間・親子交流活動・子育てサークルの援助をおこないました。 <p>“希望の郷”に行き利用者さんと交流したり、稲積邸にて地域の方と料理作りを行ったりして地域の方々と交流しました。</p> <p>子育てサークル『こぐまクラブ』に参加して援助を行ったり、町の子育て支援事業『わくわくフェスタ』のスタッフとして協力することで地域支援事業にも積極的にかかわりました。</p>

*子育てセンターサービスの年間利用人数等は別紙のとおりです。

【人財育成事業】

① 研修

《事業所内研修》

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
集合研修	全職員	3名	・感染症による嘔吐処理や連携の仕方等実施訓練を交えて実践的な学びとなりました。
石見さくら会 保育研究会	全職員	2名	・救急法実技研修は、身近な救急法であり知識としての学びとなりました。 ・発達研修は、保護者支援にも繋がる内容で保護者対応に役立つものでした。 ・防犯訓練は、不審者かどうかの境界線から対応の仕方・防護等実践的な学びとなりました。

《事業所外研修 専門研修》

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
子育て支援担当者研修への参加	保育士	なし	・さくらんぼクラブと兼務の為、子育てサポートアドバイザーの研修に参加しました。

② その他の取組事項

計画上の取組事項	実施した内容・成果等
専門機関との連携 及び情報交換	・保健課の保健師・歯科衛生士・栄養士との情報交換の会議を年2回持ちました。(4月・10月) ・他の支援センターより機関紙を送ってもらい、情報交換を行いました。 専門の担当者ならではの目線で支援センターに情報提供をして頂き、参考になりました。保健課とのつながりができていることも保護者から信頼を得ています。

【施設整備事業】

計画上の施設整備等	実施した内容
	特に計画はありませんでした
計画外の施設整備等	実施した内容
絵本や本棚の購入	予算がありましたので、年度末に絵本や本棚を見直して購入させて頂きました。

3. 要員（人員）体制の総括

【要員状況表】

(単位:人、%)

職 種	計 画		実 績		
	人 員	常勤換算数	人 数	常勤換算数	計画に対する% 充足率
保育士	3	1.3	3	1.5	115.4
保育補助	2	1.0	2	0.8	80.0
計	5	2.3	5	2.3	100.0

4. その他

3月になり、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に、講師の行事はすべて中止をしたことで、利用は少し減少しましたが、全く利用の無い日は一日もありませんでした。在宅親子にとっては、サロンの場所が他になくての来所であり、子育て支援センターのニーズの重さを感じております。

以上

《石見さくら会さくらんぼクラブ事業報告》

1. 事業総括

(1) サービス事業

石見さくら会さくらんぼクラブが子育て支援センターにある事で、在宅親子や石見さくら会保育所の子育て家庭に、より密着した支援が出来るように携わってまいりました。また、行政からも個別に依頼があり連携できる体制が整ってきております。平成31年度は特に保育所への朝の送りの依頼が多く、急に習い事への送迎を依頼される事もありました。そんな時まかせて会員さんは、依頼に対して快く引き受けて下さり、頭が下がる思いでした。こういったまかせて会員の方が居て下さることで、困った時の保護者の安心を感じました。利用件数が増えることが目的ではなく、困った時にはいつでも対応できる仕組み「さくらんぼクラブ」が存在する事にも意義があると思われました。

(2) 人財育成事業

行政と連携して研修会を開催し、会員の専門的な知識向上に努めてまいりました。アドバイザーとして自己研鑽できるような研修に積極的に参加し、能力向上に努めました。

平成31年度に実施した個別の事業の詳細及び成果は以下の通りです。

【サービス事業】

計画上の事業	実施した内容・成果等
事業の周知及び会員募集	<ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブ、小学校、保育所、在宅親子、検診や子育てイベントに出向き、チラシを配布したり事業内容を説明しました また、年度初めにチラシを新聞の折り込みにして配布し、啓発活動の幅を広げてまいりました。 ・まかせて会員 13名 お願い会員 16名
交流会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・日高豊美氏を講師に招き、「お願い会員」「まかせて会員」との交流会を開催し、わらべうたを通して楽しい交流や意見交換会により、会員同士の親睦を深めることができました。
講習会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課と連携して発達についての講習会を開き、まかせて会員の専門的な知識向上に努めました。
報酬支払いの助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で延べ70回の利用があり、利用料の半額を助成し、子育て家庭の負担の軽減に努めてまいりました。

【人財育成事業】

① 研修

計画上の研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
ファミリーサポートアドバイザー研修会	保育士	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の日程が定まっていなかった為、支援センターの行事と重なり参加できませんでしたが、こちらの状況を送付し、県内のファミリーサポートセンターの状況も教えていただきました。

2. 要員体制の総括

要員は、子育て支援センターと兼務で1名となっております。

以上